

文化祭開催のご挨拶



野田市教育委員会
教育長 染谷 篤

今年で75回目の節目を迎えます、市民の芸術の祭典「野田市文化祭」が開催されますことを、心よりお喜び申し上げます。

今年度、野田市文化団体協議会の文化功労者として、松本富風様、蓬萊宗玲様のお二人が表彰されます。本市の文化発展に永年寄与されましたことに心より敬意を表します。

さて、「健康スポーツ文化都市宣言」から1年が経過し、引き続き文化・芸術団体の皆様に多くの活動を行っていただいております。

この宣言を契機としまして、今後も文化芸術を広く推進してまいりたいと考えております。

野田市文化祭がますます盛会となり、心豊かなうまいのある生活と薫り高い市民文化の創造を目指して発展されますことを祈念し、御挨拶とさせていただきます。



野田市文化祭実行委員会
委員長 中野 祐三郎

この度、令和6年度第75回野田市文化祭が開催されますことは、ご参加の皆様をはじめ野田市長鈴木有様並びに野田市教育委員会のご理解とご協力の賜と心より御礼申し上げます。

また、本日の式典に花を添えて頂きます野田市立木間ヶ瀬中学校、関宿中学校、二川中学校吹奏楽部の皆さん、指導された学校関係者の方々に心から感謝申し上げます。

ご来場者、出演者、出品者、この文化祭に関わる全員で文化祭を大いに盛り上げ楽しんで頂きますことが野田市文化祭実行委員会にとりましてこの上ない喜びとなります。

野田市文化団体協議会 文化功労者のプロフィール

野田市文化団体協議会では、昭和47年以来、野田市の文化発展に寄与された方々を文化祭式典で表彰しております。本年は、数えて第50回目となります。文化功賞受賞のお二人の略歴及び功績を紹介いたします。



まつもと とみふう
松本 富風氏

昭和11年埼玉県幸手市に生まれる。8歳の時尊父の出征に伴い、母堂の郷里、野田市へ転居した。

少年の頃より武道と剣道に魅せられ、そして憧れ、それに伴う詩吟にも興味を持ち心の糧となった。

昭和47年に野田吟詠同好会が野田市文化団体協議会（文協）へ加盟、その指導者の塚原貞風先生との出会いが詩吟を学ぶ機会となり、自己研鑽を積み精進に励み、昭和50年野田吟詠同好会・中央教室へ入会した。

平成16年に清水木曜教室及び日曜教室を開設、平成25年に市民会館金曜教室も開設、平成28年に市民会館水曜教室をも開設し、指導と共に地域への普及活動に貢献している。

平成30年に野田吟剣詩舞連盟代表者に就任し現在に至り、その要職に尽力している。

昭和30年の野田市美術刀剣会（文協加盟）設立にも関わり、平成20年まで幹事を務めた。

野田古美術研究会設立にも尽力し、平成3年の文協加盟と同時に会長に就任し、運営に関わり、その功績と幅広い活動の功績は誠に顕著である。



ほうらい そうれい
蓬萊 宗玲氏

昭和16年秋田県横手市に生まれる。平成2年より野田市に在住。

青春期に勤務した会社の貴賓室にお茶室があり、折々お茶会が開催されていた。職場にも慣れ何か身につけたい、とそんな思いでいた折りに出会ったのが茶の湯である。

昭和43年に茶道裏千家入門、習練を重ね、正教授の資格を取得、昭和50年より京都淡交会の幹事を務めた。昭和60年より東京同門の会にて毎年献茶式の添釜に参加し、茶道の継承と普及に尽力された。

平成12年野田市茶道協会へ入会する。爾来、清水公園つつじまつり・関宿城さくらまつり等の事業に参加して呈茶に協力貢献し、平成15年より野田市文化祭茶会では、数年毎に席主を務め、日頃から積極的に暮らしの中で身近に楽しむを心がけ、茶の湯の継承に取り組んでいる。

平成24年野田市茶道協会会長に就任し、その要職に尽力し、子ども対象の体験教室を開催、研修で来日の方々にも、松樹庵で茶会を開催し、伝統ある日本建築を同時体験する場を提供しており、実践力と活動力、その功績は誠に顕著である。